

令和5年度公益財団法人静岡県文化財団 事業計画

I 基本方針

本財団では、昨年度策定された「第5期静岡県文化振興基本計画」を踏まえ、文化芸術の振興と国内外の交流を推進している。令和5年度は、長期化するコロナ禍や厳しい経済環境を前提として、「心豊かで活力のある地域社会の持続的な発展」を目指し「静岡県文化財団中期構想」の見直しを進めるとともに、現構想の「はじめての劇場しずおか～文化芸術の体験～」、「アーツカウンスルしずおか～創造的な活動への支援～」、「集いをささえるグランシップ～施設の利用促進と維持管理～」を基として、各分野で状況に合わせた柔軟な事業展開を図るとともに、県の東アジア文化都市事業に積極的に取り組む。

また、財団は、コロナ禍による社会活動の変化や厳しい経営環境の中で、事業等の取り組みも含めて、さらに効率的・効果的な運営を進める。また働きやすい職場づくりとして、柔軟性の高い勤務制度や新たな評価制度の導入を図る。

1 はじめての劇場しずおか ～文化芸術の体験～

- ・子どものうちから県民が幅広く文化芸術に触れる場づくり「はじめての劇場しずおか」として、多彩な文化芸術体験を推進する。
- ・これを実現するため、グランシップ企画事業を核として、県受託事業や財団独自事業も積極的に進め、文化芸術の体験機会の創出に総合的に取り組む。

2 アーツカウンスルしずおか ～創造的な活動への支援～

- ・「アーツカウンスルしずおか」は、すべての県民をつくり手として、誰もが有する創造力が活かされる道をひらき、まちづくりや観光、福祉、教育など社会の様々な分野においてイノベーションが生まれる創造的な地域づくりに貢献する。
- ・具体的には、創造的な活動への支援事業、パイロット事業、人材育成・ネットワーク化事業等に取り組む。

3 東アジア文化都市の推進

- ・県が推進する「東アジア文化都市2023」については、実行委員会に参画するとともに、グランシップ企画事業やアーツカウンスル支援事業等を通じ、静岡文化の発信と東アジアとの文化交流を積極的に推進する。
- ・事業の広報についても財団独自の媒体を積極的に活用し、県とともに幅広い事業周知を図る。

4 集いをささえるグランシップ ～施設の利用促進と維持管理～

- ・「集いをささえるグランシップ」として、文化芸術の創造と参加活動の支援及びコンベンション等の誘致により「新たな利用ニーズへの対応と賑わいの創出」を目指し、施設の利用促進を図る。
- ・高速通信環境の導入など、withコロナ時代のニーズに沿ったサービスの提供により「デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上」を図る。
- ・利用者にとって、安全、安心で快適な施設環境づくりを進め、効率的・効果的な施設の維持管理に取り組む。

5 文化財団法人運営

- ・長期化するコロナ禍やロシアとウクライナの戦争により、厳しい経営環境が続く中、文化事業を継続的に推進するための安定した経営基盤づくりとして、収入の確保と経費の節減に一層努め、効率的・効果的な運営を図る。
- ・人事評価、キャリアアップ制度、各種研修制度等の導入により、引き続き多様な働き方を推進し、働きやすい職場づくりを進めるとともに、将来の財団運営を担う人材の育成を図る。

II 事業概要

1 はじめての劇場しずおか～文化芸術の体験～

社会状況が大きく変化する中で、文化芸術の本質的価値を踏まえ、次世代を担う子どもを中心に地域、世代、障がいの有無に関わりなく、幅広く県民が文化芸術に触れる場づくり「はじめての劇場しずおか」として、多様化するニーズに応え多彩な文化芸術体験ができる環境づくりを推進する。

これを実現するため、初めて文化芸術に触れた誰もが感動できるような事業の質を可能な限り担保しながら、グランシップ企画事業を核として、県受託事業や財団独自事業も積極的に進め、文化芸術の体験機会の創出に総合的に取り組む。

なお、「東アジア文化都市2023」を推進するため、グランシップ企画事業で協働プログラムに取り組み、本県及び日本の文化の発信と中韓の文化の理解を深め、東アジア文化都市の文化芸術の魅力を国内外にアピールする。

(1) 多彩な文化芸術分野での鑑賞・参加など様々な形での体験

推進に当たっては、現構想を基に横軸として分野（戦略目的）別に「子ども・子育て世代への支援」をはじめ、「音楽文化等の普及・振興」、「伝統芸能の継承」、「文芸（ことば）・美術等の振興」の4本柱とし、縦軸として体験（事業形態）別に「上質で多彩な鑑賞」、「関心・理解・親しみを深める教育普及」、「誰もが主人公となる県民参加」の3本柱で重層的に構成する。

【戦略目標別の内訳】

戦略目標	事業本数	入場者数
ア 子ども・子育て世代への支援	24事業	45,340人
イ 音楽文化等の普及・振興	15事業	11,040人
ウ 伝統芸能の継承	6事業	3,330人
エ 文芸（ことば）・美術等の振興	6事業	19,950人
合計	51事業	79,660人

【事業形態別の内訳】

方針	事業本数	入場者数
① 上質で多彩な鑑賞	22事業	19,060人
② 関心・理解・親しみを深める教育普及	19事業	6,980人
③ 誰もが主人公となる県民参加	10事業	53,620人
合計	51事業	79,660人

※ グランシップ企画事業：51事業、79,660人 人材育成事業：2事業、590人
 総計：80,250人

(2) 具体的な取組

ア 子どものための文化芸術鑑賞・体験機会の確保

① グランシップ子どもアート体験！学校プログラム（アウトリーチ事業）

次世代を担う子どもたちが身近な場所である学校において本物の文化芸術に触れ、豊かな感性や創造性、コミュニケーション能力を育むことができるよう、県内各地の教育機関と連携し、多様なプログラムでアウトリーチ事業を実施する。児童生徒の年齢や地域の特性、学校の希望等を考慮し、グランシップオリジナルプログラムを提供する。

② 国立劇場歌舞伎鑑賞教室・中高生のためのオーケストラ

劇場ならではの本格的な芸術体験が、多感な時期を過ごす中学生・高校生にとって自分自身と向き合う糧となることを目指し、ユネスコ無形文化遺産で、日本が世界に誇る伝統芸能のひとつである「歌舞伎」を分かりやすい解説付きで上演する「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」、国内一流のオーケストラを招き、交響曲等のクラシックの大曲をまるごと一曲取り上げ、聴きごたえのあるプログラムで送る「中高生のためのオーケストラ」を開催する。中高生鑑賞プランと同様のチケット価格、交通費支援を行い、県内の中学校・高等学校から応募を募ることで、学校の負担を減らし、かつ芸術鑑賞教室としての活用が可能な仕組みとする。

③ 子ども・学生チケット

グランシップ企画事業（出前公演を含む）の子ども・学生チケット（小学生から28歳以下の学生）価格を原則1,000円とする。座席は、親子で並んで鑑賞できるなど、自由に選択できる。

④ 中高生支援

(7) 中高生鑑賞プラン

区 分	内 容
対 象 者	・ 県内の中学生、高校生
対象事業	・ 指定したグランシップ®企画事業（出前公演も含む）
支 援	学校の授業や課外活動の一環として学校単位（部活動単位）での鑑賞の場合 ・ チケット特別価格 800円 ・ 学校からグランシップ®（公演会場）までの交通費の全額支援（学校から会場までの直線距離2キロ以上で公共交通機関又は貸切バス等を利用）

(イ) 静岡県高校生アートラリー

区 分	内 容
目 的	県内公立文化施設、静岡県高等学校文化連盟の協力を得て、県内各地の文化ホールでの高校生の芸術鑑賞機会を促進する。
対 象 者	県内の高校生
対象公演	・ 県内の文化ホールが登録した公演（例年100前後の公演が対象） ・ 公演紹介パンフレットを4～5月に県内全高校生に配布
仕 組 み	・ 対象公演を鑑賞し、ポイントを集める（ポイントの有効期限は高校在学中）。 ・ ポイント3つで対象事業の中で希望する1公演のペアチケットが獲得できる。 ・ ポイントは冊子へのスタンプの他、LINEを利用して集める。

⑤ 子どもが文化と出会う機会創出事業（県委託事業）

財団が文化支援事業やグランシップ企画事業で培ってきたノウハウを活かして、引き続き、「子どもが文化と出会う機会創出事業」を実施する。

内 容	期間等
県内プロオーケストラによる ・ 地域訪問プログラム ・ 未就学児対象コンサート	令和5年5月～令和6年3月

イ 文化芸術公演の積極的な取組

コロナ禍を経て、社会情勢や生活スタイルが変化する中、これまで以上に積極的に公演事業を展開する。次世代のグランシップファンの獲得、県民ニーズを意識した鑑賞公演による高い入場率の確保と、未来に継承すべき伝統芸能公演の実施など、経営状況を踏まえたバランスで事業を実施。先鋭的な取組と、グランシップが県立の劇場、静岡県の文化施設の中核として果たすべき役割を考慮し、多彩な文化芸術の鑑賞機会を提供する。

① 高い入場率の確保

「グランシップクリスマスライブ 平原綾香」や「グランシップ寄席柳家喬太郎（2公演）」など人気・実力を兼ね備えた出演者による公演で、高い入場率を確保する。

② 新たな客層への訴求

「H ZETT M×神奈川フィルハーモニー管弦楽団」や「坂東祐大音楽公演」といった従来の音楽の枠にとらわれない公演や、「平間至写真展」など、これまでにない公演を実施し、次世代のグランシップファン獲得を目指す。

③ 期待に応える鑑賞機会の提供

「東京都交響楽団名曲コンサート」や「人形浄瑠璃文楽」、「しずおか連詩の会」など、長年の取組みが定着しており県民の期待に応えるラインナップも揃え、グランシップだからこそ実現できる幅広いジャンルの公演を実施する。

ウ 地域における文化芸術振興の推進

① 県民参加型事業

地域の文化団体がグランシップをステージとして広く県民に発表できる場を提供する「グランシップ提携公演」や、「グランシップビッグ・バンド・ジャズ・フェスティバル」、多くの県民がグランシップに足を運び楽しめるイベントである「グランシップトレインフェスタ」などの県民参加型事業を実施する。

② 地域文化活動の顕彰

令和4年度に取り組んだ見直しにより構築した新しい制度に基づき、令和3年度まで35年に渡り実施してきた「ふじのくに地域文化活動賞」に変わる、文化活動に関する新しい顕彰事業を実施する。

③ グランシップ友の会事業

・ 個人会員

企画事業への来場者確保に繋げるため、会員13,000人余への催事情報の提供やチケット販売などを行う。また、WEBでの情報提供のニーズの高まりに加え、環境に配慮し、郵送での催事情報提供の必要の有無を確認し、紙媒体での情報提供の削減に努める。合わせて長期間利用がない会員の状況確認を行うなど会員の維持管理にも注力する。

・ 法人会員

新規会員の増加、既存会員との関係強化に向けて、法人会員特典の見直しを図る。

④ グランシップサポーター事業

グランシップの円滑な事業運営を図るため、文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得る。

(令和5年4月1日見込)

業務区分	内 容	登録者数(人)
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	64
イベント	公演実施日の受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	53
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	19
託 児	公演時の託児サービス等	8
計	※兼務含む	144

エ 人材の育成

誰でも文化芸術を体験しやすくなる環境づくりを進めるため、地域で文化芸術活動を行うアーティストの活用、県内の公立文化施設における職員の研修を通じて、文化施設の連携や県民が地域で文化芸術に触れられる環境づくりに取り組む人材を育成する。

① グランシップ登録アーティスト制度

対 象 者	実施期間	内 容
新規登録アーティスト 4組11人	4月～2月	登録アーティスト（令和3・5年度採用・登録期間3年間） ・プログラム研修、2年目の総括コンサートを実施

② 公立ホール連携支援研修事業

対 象 者	実施期間	内 容
県内公立文化施設 職員等 10人 延べ人数90人	6月～12月、 3月 全9回	具体的な制作手法や関心度の高い内容について学ぶ、実践的なカリキュラム ・テーマ「地域アーティストの活用・協働」

2 アーツカウンシルしずおか

すべての県民をつくり手として、誰もが有する創造力が活かされる道をひらき、まちづくりや観光、福祉、教育など社会の様々な分野においてイノベーションが生まれる創造的な地域づくりに貢献する。

(1) 創造的な活動への支援事業

ア 文化芸術による地域振興プログラム

社会の様々な分野の担い手による地域資源の活用や、社会課題に対応した創造的な取組（以下、「アートプロジェクト」という。）を支援する助成制度を設け運用する。併せて、文化芸術と社会をつなぐアートマネジメントの専門的人材であるプログラム・ディレクター及びプログラム・コーディネーター（以下「専門職員」という。）が、事業を進めるに当たっての助言等、担い手のニーズに合わせた伴走支援を行う。

助成の対象			助成金額 上限	助成率
事業の区分	対 象	助成対象経費		
地域クリエイティブ 支援	先駆的事业を行 うプログラム	報償費、制作費、委託費、会場費、運搬費、賃金・社会保険料、旅費、通信費、著作権料、広告・印刷費、消耗品費	5,000千円	助成対象経費の4分の3以内又は2分の1以内※ ²
地域はじまり 支援	先駆的事业の実施に向けて試行的に取り組むもの		300千円	助成算定経費※ ¹ の10分の10

※1 助成事業の実施に要する経費から補助金、負担金、その他の収入（自己資金を除く）を控除したのち助成対象経費に該当する経費

※2 助成率上限

	プログラムの実施者	助成率上限
ア	非営利の民間団体・グループ (法人格の有無は問わない。市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等は除く。)	4分の3以内
イ	上記ア以外の団体・グループ (法人格の有無は問わない。企業、市町の外郭団体、公立文化施設の指定管理者、学校、公益法人、市町が加わる実行委員会等)	2分の1以内

イ マイクロ・アート・ワーケーション

令和3年度から実施しているマイクロ・アート・ワーケーションは、文化芸術をまちづくり等、様々な分野に派生させるとともに、地域とクリエイティブ人材※双方に多様な効果を生み出す取組として、県内外から評価されている。

令和5年度も引き続き、アートプロジェクトの担い手（以下、「住民プロデューサー」という。）を発掘し、新たなアートプロジェクトの創出につなげるため、住民とクリエイティブ人材が出会うきっかけをつくり、地域の魅力発信や、関係人口の増加に寄与することを目的に、クリエイティブ人材のワーケーションを促進する。

(※) 関わる人々の創造性を引き出すアーティスト、アートディレクター、クリエイター等

- ① ワークーションを行うクリエイティブ人材（旅人）と、旅人を迎え入れ地域住民との交流を支援する団体（ホスト）を募集し、マッチングを実施
- ② 旅人は約1週間ホストの活動エリアに滞在し、地域の魅力をWebサイトで発信
- ③ ホストは、地域案内や住民との交流会等をコーディネート

ウ クリエイティブ人材の派遣

令和4年度に開催した地域づくりフォーラム「クリエイティビティと地域のイノベーション」には、企業、金融機関、経済産業部門の行政関係者等が来場した。登壇者から文化芸術への期待感が表明され、企業からの問合せや相談が増えたことから、令和5年度も社会の様々な分野のイノベーションにつながる創造的な取組に対し、クリエイティブ人材を派遣し、関わる人々の創造性が発揮される地域づくりに寄与する。

(2) パイロット事業

令和4年度の「地場産業とクリエイティブ人材マッチングモデル事業」では、鉄工所や製材所等とアーティストが協働で試作品の制作・展示を行った。

令和5年度においても、住民の創造性を引き出すクリエイティブ人材の移住等を促進するため、クリエイティブ人材の活動領域の拡大等を目指した事業を行う。

- ・クリエイティブ人材の活動拠点や副業支援等のパイロット事業を企画・実施する。
- ・経済活動との連携を図り、ブランド化へ寄与するため、企業活動や社員研修へのクリエイティブ人材の参画等、パイロット事業を企画・実施する。

(3) 人材育成、ネットワーク化事業

- ・住民プロデューサーや、社会課題への対応を図る人材、様々な分野との連携を目指すアーティスト等を対象に、セミナーや研修、相談対応等を行う。
- ・相談窓口では、専門職員に加え、弁護士や税理士、中小企業診断士が随時相談に応じるとともに、幅広い見識をもつ特別相談員による相談会を開催する。
- ・企業、大学、市町等との連携を図り、文化芸術分野に留まらない社会の様々な分野とのネットワークづくりを進め、アートプロジェクトの活性化を図る。

(4) 調査研究、県・市町・文化団体等への助言、政策提言

令和4年度は専門職員が県・市町の文化事業の委員等を務め、専門的見地から提言等を行った。

- ・地域の文化資源、文化活動、活動団体、アーティスト、メセナ活動、国内外の先進事例等の調査研究、データベース化等を行う。
- ・県、市町、文化団体等からの求めに応じ助言等を行うとともに、調査研究の結果等を踏まえた政策提言等につなげる。

3 東アジア文化都市の推進

(1) 協働プログラム

- ・令和5年に東アジア文化都市実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する東アジア文化都市事業推進のため、「東アジア文化交流フェア」や「超老芸術展」など、グランシップ企画事業等において協働プログラムを実施する予定である。

(2) 関連事業

- ・東アジア文化都市に関連する企画事業を、認証事業として実施する。
- ・東アジア文化都市をPRするため、アーツカウンシル支援事業を含めて「東アジア文化都市」のロゴマークを積極的に活用していく。

(3) 広報

- ・グランシップマガジンやホームページ等、独自の媒体を活用し、実行委員会と連携して幅広く事業の周知を図る。

4 集いをささえるグランシップ～施設の利用促進と維持管理

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、コンベンションのバーチャル化、パーティーの自粛等など、当館の運営に対して厳しい状況が続いている。このような中、感染拡大防止対策を引き続き徹底するとともに、「集いをささえるグランシップ」として、withコロナ時代に対応したサービスの提供を進めていく。

施設の利用に際しては、「新たな利用ニーズへの対応と賑わいの創出」、「デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上」を2つの柱に、事業を推進する。

「新たな利用ニーズへの対応と賑わいの創出」では文化芸術の創造並びに参加活動を支援し、関係機関と積極的な連携を取りながらコンベンション等を誘致していく。「デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上」では、withコロナ時代に対応したサービスの提供・拡充するとともに、全館光回線の敷設等を県と連携して整備を進める。

また、グランシップ施設の維持管理においては、利用者に対して安全、安心で快適な施設環境を提供するため、効率的かつ効果的な施設の維持管理等を実施する。

(1) 新たなニーズへの対応と賑わいの創出

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大によるコンベンションのバーチャル化など、新しいニーズに対応するため一部会議室に導入した高速通信回線を、過去利用のあった国内学会等に紹介し、ハイブリッド学会等の催事を誘致する。
- ・県民が学術・文化芸術を創造し、発信する場を提供することにより、心豊かな県民生活の実現に寄与するため、多様な施設を有する当館の特性を生かし、会議ホール、交流ホール、会議室等を催事に合わせて最適な組み合わせを提案することにより、県民の学術・文化芸術活動を側面から支援する。
- ・大型県有施設として、県や県域団体の主催する大型事業を県と協働し積極的に誘致する。
- ・東静岡周辺のにぎわいに寄与するべく、県が実施する「東静岡駅県有地活用

実証実験」や地元自治会の開催するマルシェ等の主催者に働きかけ、広場を活用したイベントの獲得に努める。

- ・過去にグランシップで国際大会・国内大会を実施した主催者・団体やコンベンション企画運営事業者（PCO）、プロモーターなどに対し静岡県や県内他施設及び各コンベンションビューローと積極的に連携し、定期的な情報収集や営業活動を行い、国際会議や国内学会等の開催を誘致する。
- ・施設利用者相互や施設利用者と県民との交流の機会を創出し発展させるため、より多くの県民が学術・文化芸術活動に参加できる場、地域コミュニティが活性化できるフリースペースを提供する。
- ・エンターテイメント誘致のため、メディア及びプロモーターへの訪問営業を強化する。
- ・優先予約制度を活用し、県内の文化芸術団体や大学等が主催する学術・文化芸術催事を積極的に誘致する。

(2) デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上

- ・現在、一部会議室で提供している高速通信回線を、県と連携し全館に敷設するとともに、貸し出し備品を拡充することにより、新たなニーズであるウェブ会議利用を推進する。
- ・企業による利用を促進するため、WEB会議や講演のデジタル配信など、新しいスタイルの企業活動への対応能力を強化する。
- ・予約システムの更新に合わせて、ウェブによる施設予約の拡充やキャッシュレスによる支払いを導入し、利用者の利便性を向上する。あわせて、使用承認書等のペーパーレス化により事務経費の削減を図る。
- ・ホールの事例紹介や使用マニュアルなどホームページ情報を拡充し、利用者の利便性向上を図る。

(3) 安全・安心・快適な施設管理

- ・ウクライナ情勢に伴う燃料の調達コスト上昇により、電気・ガス等の単価が高騰しているため、共用部分の照明の節減、エレベーター稼働数の効率化など、利用者に影響がない範囲で省エネを図る。
- ・県や施設管理、警備、清掃、舞台技術の委託業者と連携して適切な管理・運営を図るとともに、適宜適切に仕様の見直しの検討を継続する。また、県が策定した中期維持保全計画と連携した、計画的な設備更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努める。
- ・電気・ガス使用を最適化し、環境負荷低減とコスト削減を実現する消費エネルギーの管理を図る。
- ・持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みとして、省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組む。

(4) 危機管理体制

- ・防災訓練においては、自衛消防隊の役割や訓練内容の見直しを図り、より実践的な訓練を行うことで、危機管理体制強化を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、国や県等関係機関の情報を積極的に収集し、適宜適正に対応する。

5 文化財団法人運営

(1) 経営基盤の安定

ア 安定的な収入の確保

- ・コロナ禍による社会生活の変化を踏まえ新たな施設利用方法について利用者ニーズを掘り起こし、施設利用率の向上と施設利用料収入の確保を図る。
- ・グランシップ企画事業においても、学校訪問や中高生鑑賞支援事業などの教育普及事業を継続するために、収益性が見込まれる事業においては、より多くの人に鑑賞頂けるよう、これまで以上に広報活動や販売促進に力を入れる。

イ 経費の節減

- ・光熱水費高騰への対応として、グランシップ常駐業者との一層の連携により、省エネルギー化を推進する。
- ・年間予算の過半を占める施設管理については総務課の分掌とし、予算管理を厳格に行うとともに、今後増加が見込まれる施設修繕の計画的な施工を図るため、効率的な執行体制を整える。

(2) 人材の育成

ア 職員が能力を発揮できる組織風土づくり

- ・各課において、管理職またはマネージャー1人あたりの職員が5人程度となるようなグループ体制を構築することで業務執行のフラット化を図り、日々の業務遂行状況や課題について管理把握、支援できる環境を整える。
- ・組織風土づくりの最も重要な担い手となる、管理職やチーフスタッフ以上の職員に対して、外部研修を活用して組織運営、チームマネジメントに関する知識向上を図り、実践に繋げる。

イ 高い資質を有する人材の育成

- ・令和4年度に試行した人事評価制度を本格実施し、適切な目標設定と管理、及びフィードバックを行うことにより、職員の資質向上を図る。
- ・月例職員研修や階層別の外部研修、財団内外で開講されるアートマネジメント等に関する研修等について年間を通じて計画的に実施する。

研修名	回数	内容
月例職員研修	9回/年	・財団方針の理解、他部署理解と部門間連携の研修 ・業務スキルの向上 ・アートマネジメント等
新規採用職員研修	1回/年	・ビジネスマナーの基本等
中堅職員研修	1回/年	・ベテラン職員の役割等
管理職研修	1回/年	・課長等に求められる役割の理解とチームマネジメント等

ウ 採用と連動したインターンシップ

- ・インターンシップを、グランシップ企画事業の体験を中心としたプログラムから財団全体の業務体験ができるものに変更し、財団の業務や職種理解を進める。
- ・インターンシップの見直しを行いながら、令和5年4月から解禁される採用直結型インターンシップの導入検討を進める。
- ・令和6年度採用予定職員に関しては、民間企業の採用活動とほぼ同時期に募集・試験を行うことで、優秀な人材の確保を図る。

(3) 自分らしい働き方を実現できる環境づくり、勤務制度の導入

- ・勤務区分を4種類から5種類に増やし、各職員の業務状況に合わせた勤務時間の選択肢を広げることで、総労働時間の縮減を図る。
- ・また勤務区分の選択肢増に併せ、育児・介護のための短時間勤務等の制度を積極的に活用することで、個人のライフスタイルに沿った働き方ができる職場環境の整備を進める。
- ・在宅勤務を正式に制度化することにより、職員がより働きやすい職場環境の整備を進める。
- ・各職員が望む職務キャリアに応じたキャリアパス制度を導入し、財団の将来を担う幹部職員の育成を図るとともに、各業務に精通したスペシャリストを育成するコースも設け、各職員が自らのキャリアアップの方向性を目指すことができる組織づくりを進める。
- ・労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断の実施や人間ドック受診費用の助成、ストレスチェックの実施による職員全体の意識環境の把握に取り組む。

【別紙】グランシップ企画事業等一覧表

ア 子ども・子育て世代への支援 (24 事業、45,340 人)

① 上質で多彩な鑑賞

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
1	グランシップ°世界のこども劇場2023	8/4(金)~6(日)	中ホール他	900	世界で活躍する劇団による、普段観る機会の少ない舞台芸術の子ども向けの公演
2	【出前公演】世界のこども劇場2023	7月下旬	菊川文化会館	300	世界で活躍する劇団による、普段観る機会の少ない舞台芸術の出前公演
3	にっぽんこども劇場～文楽わんだーらんど～	7/9(日)	中ホール	160	ユネスコ無形文化遺産「人形浄瑠璃文楽」について、解説やワークショップを交えながら、文楽の魅力、面白さを子どもに分かりやすく伝える公演
4	【共催】家族で楽しむ～神奈川フィル 夏休みコンサート	8/20(日)	中ホール	500	オーケストラの演奏を子どもたちが家族で気軽に楽しめるコンサート
計	4事業			1,860	

② 関心・理解・親しみを深める教育普及

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
5	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2公演)	6/26(月)	中ホール	1,700	「グランシップ°伝統芸能シリーズ」の1つとして実施する、学生や初心者向け解説付き国立劇場の出張公演
6	中高生のためのオーケストラ(2公演)	11/17(金)	中ホール	1,880	県内の中高生が上質なオーケストラの音楽を体験するクラシックコンサート 管弦楽：東京都交響楽団 指揮：小泉和裕
7	伝統芸能普及プログラム <大学連携> 伝統芸能講演会	11/22(水)	静岡県立大学	200	東アジア文化都市に関連し、日本の伝統芸能である能楽に関する講演・解説及び実演 【東アジア文化都市協働プログラム】
8	グランシップ子どもアート体験！登録アーティストアウトリーチ	6月～2月	県内小学校等	800	グランシップ登録アーティストによる学校でのミニコンサート。講師：グランシップ登録アーティスト
9	グランシップ子どもアート体験！人形浄瑠璃文楽出前講座(2校)	7/10(月)・7/11(火)	県内小中学校	360	文楽協会の協力による実演を交えた文楽講座 講師：人形浄瑠璃文楽座
10	グランシップ子どもアート体験！宝井馬琴監修講演教室	未定	県内小学校	300	本県出身の六代目宝井馬琴監修による講演教室 講師：宝井琴星、宝井琴鶴
11	グランシップ子どもアート体験！玉川奈々福の浪曲教室	未定	県内小学校	120	小学生向けの浪曲教室 講師：玉川奈々福、沢村まみ
12	グランシップ子どもアート体験！狂言ワークショップ	未定	県内小学校	160	小学生向けの狂言教室 講師：三宅右矩 他 * 伝統芸能普及プログラムの一環
13	伝統芸能普及プログラム <大学連携> 文楽レクチャー	7/9(日)または10(月)	映像ホール	50	大学生を対象とした文楽のワークショップ
14	伝統芸能普及プログラム <大学連携> 浪曲レクチャー	未定	映像ホール	30	大学生を対象とした浪曲のワークショップ

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
15	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 講談レクチャー	未定	映像ホール	30	大学生を対象とした講談のワークショップ
16	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 歌舞伎レクチャー	未定	映像ホール	50	大学生を対象とした歌舞伎のワークショップ
17	伝統芸能普及プログラム ＜教育普及＞ 歌舞伎レクチャー	未定	県内学校	300	「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞する学校を対象にした事前レクチャー、歌舞伎の基礎知識や公演の見どころを国立劇場職員が分かりやすく解説
18	スヴェングアウトリーチ	未定	磐田市内小学校	100	人気ハーモニカ集団・スヴェングによるミニコンサート
19	詩人と語ろう！ 言葉を語ろう！	未定	未定	20	「しずおか連詩の会」に連動した詩人と交流しながら連詩を創作するワークショップ 講師：野村喜和夫 他
20	グランシップ子どもアート 体験！ 貼り絵ワークショップ	未定	県内小中特別支援学校	30	生徒一人ひとりの表現・魅力を引き出す貼り絵のワークショップ 講師：福井揚
計	16事業			6,130	

③ 誰もが主人公となる県民参加事業

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
21	グランシップトレインフェスタ2023	5/20(土)・ 5/21(日)	全館	20,350	鉄道模型コーナーや駅弁販売等、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント 【東アジア文化都市協働プログラム】
22	冬のおくりもの2023 キノ・イグラーの不思議 の国のえいがかん	12/17(日)	大ホール	500	小さな子どもたちが家族と一緒に世界各国の映画を楽しめるクリスマスイベント
23	冬のおくりもの2023 静フィルクリスマスコンサート	12/17(日)	大ホール	1,500	県内で活動する静岡フィルハーモニー管弦楽団による0歳児から楽しめるオーケストラのコンサート
24	東アジア文化都市 東アジア文化交流フェ ア	5/3(水・ 祝)・5/4 (木・祝)	大ホール	15,000	東アジア文化都市のオープニングに関連した日中韓のステージや文化のフェスティバル 【東アジア文化都市協働プログラム】
計	4事業			37,350	

イ 音楽文化等の普及・振興 (15事業・11,040人)

① 上質で多彩な鑑賞

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
1	東京グランド・ソロイスツ	7/22(土)	中ホール	760	バンドネオン・三浦一馬や神奈川フィル首席ソロ・コンサートマスターを務める石田泰尚をはじめとする男性17名によるコンサート
2	挟間美帆 m_unit	9/23(土・ 祝)	中ホール	700	ニューヨークを拠点に活動するジャズ作曲家・挟間美帆率いるストリングスを含む13人によるコンサート
3	アレクサンダー・ガジェヴ ピアノ・リサイタル	10/23(月)	中ホール	700	2021年第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位となったアレクサンダー・ガジェヴのリサイタル

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
4	小泉和裕指揮 東京都交響楽団 名曲コンサート	11/18(土)	中ホール	760	日本を代表する東京都交響楽団によるクラシックコンサート 指揮:小泉和裕 ヴァイオリン:三浦文彰
5	小林愛実 ピアノ・リサイタル	11/29(水)	中ホール	700	2021年第18回シヨパン国際ピアノ・コンクールで第4位入賞した小林愛実のリサイタル
6	グランシップ クリスマス・ライブ 平原綾香	12/15(金)	中ホール	760	芸能活動20周年を迎える歌手・平原綾香のコンサート
7	静岡ガスPRESENTS グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート(2公演)	1/12(金)	中ホール	1,850	新年に相応しい内容で贈るクラシックコンサート 管弦楽:富士山静岡交響楽団 指揮:高関健 ピアノ:高木竜馬
8	H ZETT M×神奈川フィルハーモニー管弦楽団	1/21(日)	大ホール	1,500	H ZETTRIOで活躍する超絶技巧のピアニスト・H ZETT Mと神奈川フィルの共演による、ピアノとオーケストラのコンサート
9	【出前】ハーモニカ・カルテット スヴェング	1/27(土)	磐田市アミューズ豊田 ゆやホール	300	人気ハーモニカ集団・スヴェングによるコンサート
10	坂東祐大 音楽公演	3/20(水・祝)	中ホール	400	米津玄師の編曲や「竜とそばかすの姫」作曲家・坂東祐大による現代音楽に詩人・文月悠光氏とのテキストキュレーションが加わるコンサート
11	音楽公演①(ジャズ:大江千里)	2月	中ホール	540	ニューヨークで活躍するジャズピアニスト・大江千里によるジャズライブ
計	11事業			8,970	

② 関心・理解・親しみを深める教育普及

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
12	東京都交響楽団 名曲コンサート 事前レクチャー	調整中	リハーサル室	70	「東京都交響楽団 名曲コンサート」をより理解し楽しむための事前レクチャー 出演:矢部達哉(東京都交響楽団ソロ・コンサートマスター)
計	1事業			70	

③ 誰もが主人公となる県民参加型事業

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
13	グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2023	8/13(日)	大ホール	1,000	静岡県内で活動するアマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル
14	【共催】静岡県学生音楽コンクール	8/19(土)	中ホール	500	静岡県内のクラシック音楽を志す児童生徒を対象とした音楽コンクール
15	【提携公演】音楽青葉会・静岡児童合唱団 創立80周年記念演奏会 Part I	4/2(日)	中ホール	500	芸術団体に対する発表の場の提供
計	3事業			2,000	

ウ 伝統芸能の継承（6事業・3,330人）

① 上質で多彩な鑑賞事業

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
1	グランシップ寄席～ニホン ノコワイハナシ～	7/23(日)	中ホール	550	落語、講談、浪曲において季節感のある怪談噺を上演 出演：立川談笑、 玉川奈々福、神田阿久鯉、林家つる 子
2	人形浄瑠璃 文楽 (2公演)	10/8(日)	中ホール	850	「グランシップ伝統芸能シリーズ」の1 つとして実施する、文楽協会による文 楽公演 出演：人形浄瑠璃文楽座
3	グランシップ静岡能	1/27(土)	中ホール	600	「グランシップ伝統芸能シリーズ」の1 つとして実施する本格的な能楽公演 出演：宝生和英、宝生流能楽師
4	グランシップ寄席～柳家 喬太郎独演会～(2公 演)	3/17(日)	交流ホール	550	古典から新作まで絶大な人気を誇る 落語家・柳家喬太郎の独演会。
計	4事業			2,550	

② 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
5	グランシップ静岡能 能 楽入門公演	9/10(日)	中ホール	600	「グランシップ伝統芸能シリーズ」の1 つとして分かりやすい解説を取り入れ た能楽入門公演 出演：観世流能楽 師【東アジア文化都市協働プログラム】
6	岩下尚史の伝統芸能へ ようこそ！	8/26(土)	会議ホール	180	作家・岩下尚史さんと人間国宝・桐 竹勘十郎さん(文楽人形遣い)によ る、文楽にはじめて触れる方に向け、 魅力や楽しみ方を紹介する講演会
計	2事業			780	

エ 文芸（ことば）・美術等の振興（6事業・19,950人）

① 上質で多彩な鑑賞

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
1	平間至 写真展	7/25(火) ～ 8/20 (日)	展示ギャラリ ー	5,000	TOWER RECORDSのコーポレイト・ボ イスである、「NO MUSIC, NO LIFE.」 のポスター撮影を手掛けている写真 家・平間至の写真展
2	本と音楽の素敵な出会 い～ラブカは静かに弓を 持つ～	10/15(日)	中ホール	500	2023年本屋大賞ノミネートの安檀美 緒の作品をテーマにトークとチェロの演 奏を交えた文学と音楽のクロスオーバ ー公演 出演：安檀美緒、横坂源
3	【出前】 しずおか連詩の会 in 三 島	11/12(日)	三島市民文 化会館	180	本県出身の詩人・大岡信氏が提唱し た連詩の創作と発表 出演：野村喜 和夫 他 【東アジア文化都市協働プログラム】
計	3事業			5,680	

② 誰もが主人公となる県民参加型事業

	事業名	月日	会場	入場者数 (人)	内容
4	グランシップ 誰もが Wonderfulアート	8/26(土) ～9/10(日)	展示ギャラリー	4,000	表現や個性を認め合うことを目的として、白砂勝敏、静岡県内特別支援学校の生徒・児童の作品展
5	高松宮妃のおひなさま 展	2/17(土) ～3/3(日)	展示ギャラリー	10,000	徳川慶喜の孫にあられる高松宮妃喜久子さまがご成婚の際にお持ちになったひな人形に展示
6	【共催事業】 ふじのくに芸術祭春の 祭典 「授賞式」「総合開会式」	2/18(日)	中ホール	270	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典受賞式・開会式
計	3事業			14,270	